



かなざきひさを応援する会・会報 17 号 発行責任者 伏見 小枝

**葉山町議会第 1 回定例会が開催されました。** 期日平成 14 年 2 月 22 日～3 月 22 日

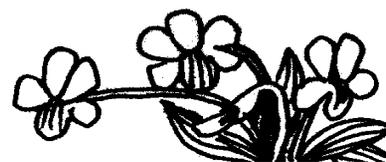
**平成 14 年度予算成立 総額 175 億 9629 万 8 千円** (前年比 プラス 9 億 6606 万円)

○主な事業内容

- ・〈新〉福祉の拠点整備事業 (2090 万 5 千円)  
旧役場跡地に福祉の拠点をつくる為の基礎調査と設計及び町立保育園の建替えの為の調査費用。
- ・〈新〉ふれあいごみ収集事業 (予算額 0 円)  
障害などでごみを出せない家庭について登録制で戸別収集を行う。
- ・〈新〉諸証明等宅配サービス事業 (29 万 4 千円)  
住民表などの諸証明を電話などで受け付け、希望する日時に自宅まで配達する。(手数料 200 円)
- ・保育園管理運営事業 (1887 万 5 千円から 2074 万 5 千円へ増額)  
保育時間延長 (10 月から) 平日 7:30～19:00 (現行 18:00) 土曜日 7:30～17:00 (現行 14:00)

○かなざきひさの一般質問

(1) ごみ問題について



平成 13 年 6 月議会において、ごみの 43%を占める紙の分別収集について質問した際に「平成 14 年のスタートを絶対やるぐらいの覚悟で指示をし、対応を図りたい」という答弁がありました。その言葉どおり 4 月から紙の資源化に向けて、ミックスペーパーの分別収集が始まりました。現在のごみの資源化率 16%を、平成 22 年度までに 36%に上げるためには、町民の方々の協力が不可欠です。

質問と提案	理事者側の答弁
学校でのごみ教育は。	小学 4 年生の授業でクリーンセンターを見学し、日常の学校生活の中で、ごみ分別について継続的に指導している。 (教育長)
分別収集の現状は。	町民に 11 分別をお願いし、クリーンセンターで 18 分別にし、そのうち 14 分別を資源化している。(町長)
4 月から始まったミックスペーパー分別の更なる周知方法は。	広報及び町内回覧で数回にわたり周知する。 (福祉環境部長)
学校で生徒対象に、ミックスペーパー分別の説明会を。	学校長に伝える。 (教育長)
学校給食から出る生ごみの処理は。	上山口小・一色小・長柄小はコンポストを設置している。葉山小は耐震整備が済んでから設置する。 (教育長)
ビンの収集について回収ボックスを設置して欲しいという町民の要望があるが。	スペースの問題で難しい。 (福祉環境部長)
日野市では有料化に伴い戸別収集を行い、ごみの半減化に成功した。葉山町への導入については。	現状では無理だが、将来の検討課題である。 (福祉環境部長)
かなざきひさの考え 説明会に出て、ミックスペーパーの収集は燃やせるごみと一緒にの日になると、区別がつかなくなるという不安が多くある町民にあった。そこでペットボトルと同じ日に資源ごみのミックスペーパーを収集してはどうかと提案した。ペットボトルに関しては分別がきちんとなされているので、水曜日は資源ごみ回収の日とすれば判り易いと思う。	

## (2) 海と川をきれいにする施策について

葉山のきれいな海と川を次世代に残すための施策として、公共下水道事業があります。しかし、全町に公共下水道を普及させるのは莫大な予算を伴います。そのため、合併浄化槽設置とコミプラの活用との併用で推進するものと思っておりましたが、平成13年11月に出席された葉山町公共下水道審議会の答申は「市街化調整区域も一日も早く公共下水道で整備すべき」とありました。

質問と提案	理事者側の答弁
公共下水道の接続状況は。	接続可能件数 4000 世帯の内、接続済数 2360 世帯。 (都市経済部長)
公共下水道見直し案について伺う。	13 年度までに 150ha 完了。18 年度までに 300ha の予定。 (町長)
今年度行う 22ha (堀内・長柄) の面整備は何世帯か。	400 世帯。 (都市経済部長)
その費用は 11 億 442 万円 (町負担は 4 億 285 万 7 千円) である。面整備より接続率アップの政策が必要だ	町内会長会議などで啓発に努める。 (町長)
接続費用や利用料を考えると公共下水道は割高なので、接続を躊躇するのではないか。	環境面を説明して理解を求めろ。 (町長)
6200 t の処理能力を持つトンネル 1 本で十分と考えるが。	不明水により変化する。当分は 1 本で対応。 (町長)
東伏見台、パークド葉山四季、シーライフパークの 3 団地のコミプラについて。	汚濁の進んでいる地域を整備した後、公共下水道に接続する。 (町長)
コミプラ利用料について。	最終的には公平性の意味からも、公共下水道料金と同額にしたい。 (町長)
市街化調整区域に適用される合併処理浄化槽補助事業について。	13 年度より創設。利用数は新築 7 件。改修 3 件。 (都市経済部長)
合併浄化槽を設置しているにもかかわらず、公共下水道につながなければいけないという理由は。	下水道法で接続を義務づけられている。 (都市経済部長)
<p>かなざきひさの考え 海と川をきれいにする為には、単独浄化槽から合併処理浄化槽に改修しようとする町民すべてに補助金を出すべきである。そして、きれいな水を流しているにもかかわらず、公共下水道につながなくてははいけないということが、どうしても理解できないし、とても無駄だと思う。</p>	



公共下水道について、18 年度までの事業計画が示されました。

平成 3 年～13 年度までの総経費 325 億 8944 万 9 千円  
 国・県から 138 億 3544 万 8 千円  
 町負担 187 億 5400 万 1 千円

14 年度～18 年度 面整備予算 75 億 1588 万 1 千円  
 (150ha)

17・18 年度 トンネル整備予算 8 億 8814 万円

.....  
 [参考] トンネルはすでに 2 本掘ってあり、現在は 1 本のみ 2 系列で稼動中。1 本につき 6200 t/日 処理能力があり、1 日 1600 t 処理している。もう 1 本のトンネルを 2 系列にして運用させる為の諸経費が 8 億 8814 万円で、その工事を 17・18 年度に行うというものである。2 本のトンネルが稼動すると、12400 t/日の処理能力となる。  
 .....

現在 150ha 面整備完了 — 9300 人 — その内 2360 世帯 接続済み — その処理量 1600 t/日  
 18 年度 300ha 完了予定 — 17800 人 — 100%として約 7500 世帯 — その処理量 5000 t/日  
 1 本のトンネルの処理能力 — 6200 t/日



どう考えても、  
 8 億円もかけて、  
 2 本目のトンネルを稼動させる理由が解らない。

皆様方の御意見をお聞かせ下さい。

発行者 かなざきひさを応援する会 会長 伏見小枝 発行所「事務局」〒240-0115 上山口 1878-9  
 TEL&FAX 78-7961 携帯 090-407-62425 E-Mail kanazakihi@aol.com